

鈴鹿市都市公園における民間活力を取り入れた利活用に向けた サウンディング型市場調査の個別対話実施結果（概要）について

都市公園を活用した公民連携事業の可能性を探ることを目的として、サウンディング型市場調査の個別対話を実施しましたので、その概要を公表いたします。

1 調査対象公園

鈴鹿市が管理する都市公園（375箇所、伊勢国分寺歴史公園を除く。）

2 調査スケジュール

内容	実施時期
実施要領の公表	令和5年1月16日（月）
質問受付	令和5年1月16日（月）～ 令和5年3月3日（金）
質問の回答 （市ホームページへ掲載）	令和5年3月10日（金）まで
参加申込書の提出	令和5年4月10日（月）～ 令和5年6月2日（金）
個別対話の実施	令和5年7月3日（月）～ 令和5年7月14日（金）

3 個別対話参加者数

6団体

4 具体的に名前が挙がった公園

9公園

鈴鹿フラワーパーク、鈴鹿川河川緑地、深谷公園、桜の森公園、石垣池公園、海のみえる岸岡山緑地、鼓ヶ浦サン・スポーツランド、神戸公園、江島総合スポーツ公園

5 対話内容（概要）

（1）施設整備等

- ・飲食施設（飲食店やキッチンカー）などの設置による利便性の向上
ただし、立地や平日の利用状況に課題があるとの意見もあった。
- ・スポーツ施設や遊具の整備による賑わい創出

- ・花を活かした賑わい創出
- (2) 管理・運営等
- ・管理事務所へスタッフ常駐を常駐させ、イベント等による賑わいの創出
 - ・自然を活かしたイベントの実施
 - ・防災訓練や防災イベントの実施
 - ・市内公園をまとめたポータルサイトの構築
 - ・SNSを活用した公園情報の発信
 - ・Park-PFI制度または設置管理許可制度と指定管理者制度を組み合わせた公園全体の管理運営
 - ・指定管理者制度による複数の公園の包括的な管理
 - ・近隣の公共施設を含めて管理をする場合、専門的な知識が必要な施設については、注意を要する。
 - ・指定管理期間については約10年が望ましいとの意見のほか、5年更新で、実績が良ければ非公募で5年間延長が望ましいとの意見もあった
- (3) 市への要望
- ・事業者募集時に市の方針の提示
 - ・地元企業とのマッチング機会の創出
 - ・近隣住民の理解を得ながら進めることが重要
 - ・整備方針公表から募集開始まで一定期間の確保

6 今後の予定

今回いただいた提案等をもとに、公民連携に向けた事業手法などについて具体的な検討を行い、事業可能となった公園から順次事業者公募を実施します。

これまで以上に効果的かつ効率的な公園整備や管理運営を行い、都市公園の賑わい創出や新たな楽しみ方など、公園の魅力を高め、市民サービスの向上に努めます。

令和5年8月25日